



編集発行所
〒990-2492 山形市鉄砲町一丁目15-64
山形県立山形西高等学校
嚶 鳴 同 窓 会
電話 023-641-3504



内容も外観も美しく

会長 佐藤 伶子

歴史的建造物は大切に保存され、例えば山形市の旧山形県庁・文翔館のように、後世に受け継がれて行きます。しかし私達の母校は創立以来百八年、現在の山形市役所北隣り山形市高等女学校として産声をあげてから、香澄町へ更に現在の鉄砲町へと移転を重ねて来ました。西側の道路拡幅工事で付属する建物が取

り壊されたものの、昨年は美しい山形跡物のフェンスができ上り、母校の位置はここにもお化粧直しを終え新しい光を放っております。それで残す所は西高の顔、表門です。創立百周年記念事業実行委員会、PTA・後援会・同窓会が一体となって、今年度最後の仕上げ、正門の整備に取り組みます。西高はガリ勉高校という誤

解を解くため近年活躍が目覚ましい在校生の部活動を道路に向けた横断幕でアピールする事も考えております。門の整備は今年度中に済ませて、三年生の皆さんには、文字通り「新しい門」から巣立ってもらいたいと、考えております。

同窓会の皆様には、この趣旨をお汲み取りいただきまして浄財をお寄せいただければ幸いです。クラス委員を通して一学年二十万円を目標にしておりです。一人でも多くの方々にご協力いただきたく存じます。

又、学年会など催される場合はぜひ母校にもお立ち寄り下さって、アカシア会館の同窓会展示品をご覧下さい。併せて着々と整っていく外観にもきっと喜んでいただけることと思っております。

業績を残された五人の偉大な先輩について紹介しました。その五人とは、北海道大学農学部から理化学研究所に入り、家庭を持ちながら研究者としても大きな功績を残された山崎先生、東北大学で教授となられた石坂（旧姓・松浦）照子さん。そして、筑波大学で地質学を専攻し、大学院在学中に日本列島の起源



去る六月二十日、山形県民会館において、本校創立百八周年を記念する式典が行われました。

式典の主な部分を校長式辞が占めるわけですが、毎回本校の歴史に関わる話を交えながら、今の西高生はかくあるべきだ、というアドバイスをすることになっています。

嚶鳴同窓生の皆様へ

校長 東海林 明

た加藤セチさん。東京女子医大を卒業後、故郷である西川町大井沢で僻地医療に生涯を捧げた志田周子さん。深い信仰と看護の勉強を背景にして

業績をあげた安達修子さん。自然科学の分野に限定して歴史に残る功績を拾っていくだけで、本校の先輩たちの名前がこんなに上がってくることに、私はあらためて深い感動を覚えました。

そして、本校同窓生のお一人お一人が、これらの方々と同じように「情熱」を持って「努力」しておられることに思いを致し、「嚶鳴精神」とは決して高校時代だけのものではないことに、あらためて気づいた次第です。

同窓生のみなさまの人生の一層の充実を心から願ってご挨拶いたします。

今年度祝賀をお受けになられたのは、米寿八人喜寿七人でした。米寿の吉田コト様からは、今も芸工大の聴講生として勉学に励んでいらっしやること、私は勿論会場のみんなはその前向きな気持ち

に感動し胸が熱くなる思いでいっぱいでした。喜寿の井上和子様からは、在学中は戦争のまっただ中で勉強どころではなく、また友を亡くしてしまっただけで、つらい思い出を語っていただきました。私達の頃は、何不自由なく勉強の同窓生だったこと、後輩も活躍していますね。

先輩の存在の重みを感じて —平成17年度 嚶鳴同窓会総会—



祝宴は、元校長の大場文雄先生の乾杯で始まり、しばし懐かしい方々との語り合いに花が咲きました。当番学年である42・43年卒の私達は、準備を進めていくうちに気がつく頃に戻り、何でも言い合えばかりは若さをばりばりと発揮しながら毎日を送っていたなあと思いがちです。この機会を持って、改めまして感謝の気持ちを込めて感謝の言葉を述べさせていただきます。

最後になりましたが、校内理事の先生方、先輩の理事の方々、その他多くの方々の協力に感謝して嚶鳴同窓会総会の報告とさせていただきます。（昭和42年卒 海老名和枝）

平成18年度
総会のお知らせ
と き：11月12日(日) 午前10:30開会
と ころ：オーヌマホテル
会 費：5000円
山形県立山形西高等学校
嚶鳴同窓会
2006年11月12日(日)
午前10:30開会 オーヌマホテル

私がおはなし(民話等の素語り)に出合ったのは山形市立図書館で児童奉仕の仕事をした時である。子供を対象にしたおはなし会があり、はじめて私は「山形のとんと昔」をきいた。そして山形弁の持つ美しさと快良さを味わい、方言の良さを知ったのだった。あれから二十数年、私も語り手として色々な昔話を語りてきた。ある時一人の老人が「俺もとんと昔を聞いて育ったが、戦後方言は悪い言葉で俺たちの言葉で話すのははさかしいことだと言われ、それ以来誰にもとんと昔など語らね...」と言った。その言葉が今も心にひっかかっている。人から人へ語り継がれた昔話やわらべうたには、庶民の暮らしの深い知恵があり、大事な暮らしの文化だったと思う。それが時の政策により切り捨てられてきたことを頭のすみに残しておきたい。

嚶鳴同窓会東京支部

http://www.oumei.jp

～できることをできるときに楽しく～

今年、東京支部は、支部長が替わりました。長い間ご尽力下さいました遠藤支部長から、副支部長として五年間務めてこられた田中克子さん(昭和32年卒)に引き継がれました。田中新支部長のもと「できることを、できることを、楽しく」をモットーに新しい事業がスタート

今年、東京支部は、これまで同窓会の発展に努力してこられた方々が高齢になられ、一方で若い世代の入会者が減り続けているという状況に直面しています。将来も若い世代と上の年代の方が手を携えていける会となるように「今できること」それが新しい事業です。より多くの方に東京支部の存在を知っていただくことが第一と考へ、ホームページを開設し、同窓会の情報を提供しています。

また、東海林明校長先生、同窓会長、事務局の皆さまのご理解とご好意で、本年度より、西高で行なわれる同窓会入会式に参加させていただいております。これからは、支



部部の活動を紹介します。行事への参加を呼びかける機会をいただきますこと、心より感謝申し上げます。昭和42年6月25日、平成18年嚶鳴同窓会東京支部総会が、二百五十名の皆さまにご出席いただき開催されました。ご来賓には東海林校長先生、恩師の須藤康一先生、山形から同窓会役員の方々をお迎え致しました。校長先生からは、「毎年同窓会が楽しみです。活気あふれ

入梅宣言が出された6月初旬、須藤康一先生を寒河江のご自宅へお伺いしました。須藤先生は、大学を卒業後、母校の寒河江高校に新任。16年後、西高に着任。昭和42年から61年退職なさるまでの19年間勤務され、幾度も学年主任の重責を果たされました。また、生徒課長時代には高校にも学園紛争の余波が迫り、頭の痛い思いを経験なさったそうです。クラブ活動では、愛好会として発足した弓道部が、全国高校総体個人部で二位、県総体で団体優勝などの成績を挙げたことは顧問として、お喜びひとしおだったそうです。須藤先生が赴任された年、西高名物「ナイター」が廃止され、課外補習に代つ

て、六五分授業が始まって、授業の充実によって学力向上をいかにして計るか、先生・教職にあつた頃を振り返ってみると、一番お心に残っているのは昭和54年。初めて共



須藤康一先生

通一次試験が実施された時のことです。模擬試験をさせていたものの、全くの手探り状態。本試験の結果は理科・社会の科目間の平均点の差が余りにも大きい上、調整がなされないため、科目選択によって志望校の変更を余儀なくされたこともありました。

先生は、にこやかに、充実した教員生活の思い出を語って下さいました。ご自宅は、寒河江市の閑静な田園地帯にあり、ご自身もさくらんぼなど、農業をなさって、まさに「晴耕雨読」の毎日を送っていらつしやる。今は十一人のお孫さんを持ついいおじい様です。旧職員の方々とは今も交流が深く、一緒に旅行なさることもあるそうです。しかし、シルクロード・インド・カンボジア等、交通の便の良くない場所ばかり。奥様をお連れになったのは、当時留学中だったご子息を訪ねての米国旅行一回だけだったそうです。旅の思い出とお尋ねすると、「オー・ヘンリーの短編の舞

恩師を訪ねて

晴耕雨読の日々

在校生の活躍

- 〔県高校総合体育大会・東北高校総合体育大会・国体県予選〕
 - * 登山部 最優秀 阿部愛 吉田恵理 本間理紗 長谷川友香 インターハイ出場
 - * サッカー部 第1位 東北大会第3位 全国大会出場
 - * 卓球部 ダブルス第2位 遠藤真奈美・遠藤悠子 インターハイ・東北大会出場 団体第3位
 - * なぎなた部 演技競技 第1位 布施まどか・佐藤晃子 インターハイ・東北大会出場
 - 第3位 五十嵐奈央・奥山若菜 東北大会出場
 - 個人 第2位 五十嵐奈央 インターハイ・東北大会出場・団体第3位
 - 国体県予選 個人第2位 奥山若菜(団体、ミニ団体出場)
 - * バドミントン部 個人第3位 井川奈保 東北大会出場
 - * 新体操部 個人総合第3位、ボール第3位、ロープ第3位 大澤ゆかり
 - 東北大会個人総合第3位、ボール第2位、ロープ第3位 大澤ゆかり
 - (国体候補選手、ミニ団体出場)
 - * バスケ部 団体第3位 * バレー部 団体第3位
 - * テニス部 団体第3位、ダブルス第3位 荒井緑恵 秋葉沙依
 - * 陸上部 400M第4位入賞 奥山史織 東北大会出場
 - 4×400mR第6位入賞 東北大会出場
 - * 水泳部 100M平泳第5位、200M平泳第5位 武田ゆかり 東北大会出場
 - 100M平泳第5位、200M平泳第5位 武田ゆかり 東北大会出場
- 〔全国高等学校総合文化祭出場(京都)〕
 - 美術部(富樫真実子)・書道部(児玉 暁)写真部(多田有里)
 - 放送部(今 晴香・対馬里美)・弁論(峯田加奈子)
- 〔山形県高校放送コンテスト〕
 - 〔朗読部門〕第1位 古川瑛理、第3位 菅野しのぶ 全国大会出場(東京)
 - 〔アナウンス部門〕第4位 元木はるか 全国大会出場(東京)
 - 〔ラジオドキュメント部門〕第2位 全国大会出場(東京)



登山部 4年連続インターハイ出場

わがクラス会

みよし会三組

やわやわと木々の萌え初む五月十一日、集合場所の駅西口より、二十六名、門伝の拙宅へ。約二百年の白藤の二分咲きを賞で、摘みたて野菜と五加こはんでお昼をすませ、蔵王温泉・和歌の宿「わかまつや」へ。

これまでのクラス会は、昨年は会津方面、月山の麓、志津、湯田川、東京、那須高原と過去六回は遠出でしたが、山形周辺の希望により、今年はこの企画になりました。お宿では、女将が



5月12日、朝9時頃「わかまつや」玄関にて向かって後列右はしは女将の高野淳子さんです。

後輩とのことで、心のこもったおもてなしを受け、華やかに、にぎやかに、和やかにもりました。お忙しい中、栗野先生には玄関にてお迎え頂き、アカシア会館と、一部校舎内を御案内頂きました。特に考古館にて、我クラスのセピア色となりし修学旅行の写真が展示してあるのを見つけ、皆で大喜び致しました。後輩達が勉学に励みますますの輝かしい歴史を重ねられる母校の発展を、一同心よりうれしく思いました。

来年は、福島は、いわきの海へと予定され、一年後、元気で会えることを念じながら、山形駅にてさよならしました。

五十年前の修学旅行の写真 見つけ母校考古館に歓声を あぐ (昭和34年卒3年3組 高野滋子)

ありのままの今を
輝かすために

昭和24年卒 粕川 タカ

去る五月二十一日、昭和十九年入学組の同窓会に出席してまいりました。百五十名中五十一名が集り、ますます元気で澁刺とした皆様と話に花を咲かせ、二年後の喜寿の祝いの年に再会する事を約束して、お別れをして来ました。

激動の戦中、そして戦後にまたがって学生時代を送った私達。気品と優しさ溢れる三つ編み姿の先輩に憧れ希望に燃えて第一高女に入学しました。テニス部に入学し、昭和二十一年上級生とダブルスを組み、東北大会で優勝し戦後初の第一回京都国体に第一高



女の名を背に出場しました。当時はまだまだ食糧不足で在校生の皆様から旅館に持参するお米などの応援を頂いて出発することが出来た事もすばらしい思い出です。国民のだけれども生きて行く事に必死で厳しい学生時代ではありましたが懸命に学んだ日々が昨日の事のように思い出されます。終戦をはさみ現在の恵まれた時代までを過ごせた事に感謝して品位と知性を磨き文武両道の教育を受け得た事を誇りに思っています。

学制改革の間で

昭和28年卒 無着 とき

昭和二十八年に高校を卒業した私たちは、県立山形南高生として入学し、一年生の半分は西校舎、半分は南校舎に別れ、二年生になって全員五百名が千歳山を仰ぐ南校舎で学び、三年生で希望で西校舎と南校舎に別れました。

大半の女生徒は西校舎に移りましたが、卒業は南高等学校の証書で、嚶鳴同窓会入会という変てこな学年です。このとき、西高の男女共学は終りました。東京では毎年二八会と称し、男女のクラス会を持っていきます。

私たちは、昭和十六年四月に、国民学校に入学し、五年



生夏の敗戦、教科書に墨を塗り、六年生のとき女学校入学の受験勉強を始めたら、制度が変わり、新制中学となり、くやしいおもいをした記憶だけが強く残っています。



高校を卒業して五十三年、七十三才になりました。卒業後すぐ山形を離れた私は、現在の西高のことを全く知りません。

四十五才で、東大病院チームの一員として、カンボジア難民医療に参加したのをきっかけに、カンボジア復興に深くかかわってきた二十年が、私の最も輝いた時間だったように思います。

タイのプラテープ先生との出合いで、麻薬中毒、親による強制売春、虐待、捨てられた子どもたちのため「生き直し学校」の設立にも加えていただいたこと、カンボジア特

今、私がめざすもの

昭和41年卒 後藤 桂子

より夢のある生活を求めて親の大反対を押し切って北海道の農家に嫁ぎ、今はいきがいを感じています。

鎌も鋏も持つことも知らずひと目惚れした大自然に魅せられて今の生活にとびこみ、家族と四人の子供達を通して農業者として育てられました。

又、JA女性部の地区長をするようになって、味噌作りがきっかけとなり、大豆や野菜の直売を経て、物流から人間相互の交流が続いています。

その交流の中で消費者の我儘としかとれなかった要望。この要望が、これからの農家の生きる道ではないだろうかと思えてきました。

あれこれ模索している頃に企業(佐藤水産)に求められタイアップして循環型農業に



命大使としてノンペンにおられた今川幸雄、純子ご夫妻、そしてプラテープご夫妻と、今でも親交いただいていることに感謝の日々です。

馬見ヶ崎川の追憶と今

昭和47年卒 小関 祐子

同窓会から便りが届く。卒業から三十余年が過ぎている。高齢出産で親になった私は人より十年遅れのサイクルで生活している。やっと子どもが中学生になって『毎日母さん』(西原理恵子のコミック)状態は終息しているが、

在校時の私を知る人は私の

取り組みました。天然にこだわりの強い食品会社だけに、EM菌でできた生ゴミリサイクル堆肥も比較的安心して使えます。できた堆肥も肥料会社を通じて微量要素まで分析して頂き、失敗を繰り返しながら、ようやく六年目にして、最終目的は完全無農薬栽培で

農業使用にはこの他厳しい日本でも指折りの某大型スーパーが「もう検査済みです。是非、後藤農園の野菜を。」と懇願され「とうきび、大根」を中心に契約のはこびとなりました。いつのまにか検査済みとは、責任を感じます。

一昨年は部活の顧問でもあった木村洋子先生が御主人とも「私の職業は経済の底辺で人と自然の命を守る事」と大それたうぬぼれを胸に。又、一年一回のクラス会、級友達の便りを楽しみにしながら……。

先生方の協力もあり馬見ヶ崎川の源流付近から最上川に合流するまでの一部始終を見られたことは貴重かつ忘れがたい思い出である。

源の清流が人の営みの中汚れながら下り、最上川と合流するころは、濁って清流のおもかげもない。何やら自分と重なるように思わず苦笑する。

卒業後は長く東京都民、神奈川県民だったがUターンして十年ほどたつ。ときおり山形市に行く電車で馬見ヶ崎川

でも我家を訪れて下さいました。辺りは農地ばかり、十五町程の水田と六町程の畑の大豆、小豆、とうきび、馬鈴薯等を観て頂きました。

そして佐藤水産の堆肥加工施設、後藤農園の直売所、子ども達が通った全校生十数人のちっちゃい小学校。

観光案内に載らない石狩市内のあっちこちを観て、最後に私の人生を左右した本庄睦男の「石狩川」の文学碑の前で記念撮影……。

今はJAいしかり女性部の部長と生産者と消費者でつくる「石狩農産物加工グループ連絡協議会」の会長と大切な農業を友に腰痛と闘いながら頑張っています。

「第一歌集『北方果樹』(ながらみ書房)を出したのは一九九四年。ながらみ書房出版賞を頂いた。第二歌集は「S E I N」の予定。母子、家族がメインになる。師の馬場あき子曰く、表現するということとは日本橋を裸で行くくらい

の覚悟が必要。言うとおりの。二歌集とも丸出しの私である。

ご冥福を
お祈り
申し上げます

- 鈴木(吉村)れい子(昭20高女)
- 鈴木(山田)典子(昭21高女)
- 相馬 愛(平16西高)
- 後藤(後藤)利子(昭14高女)
- 宇野康子(昭20高女)
- 近藤(荒井)明美(昭39西高)
- 佐藤(菊池)芳子(昭13高女)
- 今野(後藤)育子(昭43西高)
- 樋渡(川越)キミ(昭17女師二部)
- 田中(松田)ひろの(昭4女師一部)
- 岡安(大沼)聖子(昭38西高)
- 伊藤文香(昭56西高)
- 檜野(武田)ミツエ(昭16女師二部)
- 坪沼(坪沼)登美(昭19高女)
- 湯浅(榎森)美津子(昭5高女)
- 鶴谷(渡辺)歌子(昭15高女)
- 池田(及川)五穂子(昭42西高)
- 志田(国井)とき(昭6高女)
- 渡辺(小山田)喜代(昭28南高)
- 阿部(斎藤)順子(昭31西高)
- 安部(二本松)達子(昭22高女)
- 関(川井)育子(昭28南高)
- 小林(本田)節子(昭37西高)
- 新関(向田)久子(昭20高女)
- 二本松愛子(昭16高女)
- 中村(中村)フミ(昭4高女)
- 奥山(桜井)香乃(昭20高女)
- 渡辺(藤原)ふみ(昭5高女・昭5女師二部)
- 真壁(高橋)安子(昭22高女)
- 野口(鎌田)秀子(昭30西高)
- 武田(開沼)裕子(昭47西高)
- 加瀬(木村)明子(昭47西高)
- 渡辺(平)不二(昭4高女・昭5女師二部)
- 安孫子(田中)いく(昭20高女)
- 高島(大場)静子(昭20高女)
- 安達(阿部)季子(昭22高女)
- 星川(佐藤)暢子(昭23高女)
- 原田(児島)澄(昭24高女)
- 大沼(松田)道子(昭44西高)
- 高橋(安達)秀野(昭5高女・昭5女師二部)

平成17年度嚶鳴同窓会基本金決算

Table with 2 columns: 収入 (Income) and 支出 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 17年度同窓会総会ご芳志, etc.

◎差し引き残高 13,465,450 - 671,024 = 12,794,426 (次年度繰り越し)

平成17年度経常費決算

Table with 2 main sections: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes items like 入会金, 会議費, 後援費, etc.

◎差し引き残高 (総収入) 2,223,949 - (総支出) 1,797,472 = 残高 426,477

平成18年度経常費予算

Table with 2 main sections: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度予算額, 本年度予算額, etc.

お忙しい中、会報32号の原稿をお寄せいただきありがとうございます。お陰様で今年も滞りなく発行に至りました。編集委員の方々は「よりよい会報作り」の為に、何れも学校に足を運んでいただき深く感謝申し上げます。沢山のの方に会報をお読みいただきたくと考えておりますので、クラス会等の機会に御出席の皆様にご配りをお願いいたします。必要枚数を事務局までお知らせ下さい。

編集後記

平成17年度主行事務報告

Table listing events for 平成17年 and 平成18年, including dates and locations like 同窓会会計監査, 嚶鳴三会長副会長会, etc.

平成19年度 米寿、喜寿のお祝いについて

米寿 昭和12年高女 昭和14年女子師範一部・二部
喜寿 昭和22年高女4年卒 (入学年昭和18年) 昭和23年高女5年卒 (入学年昭和18年)
以上の方が該当学年となります。



平成17年度維持会費納入状況 (平成18年6月27日現在)

Table showing membership fee payment status by school and year group, including 高女S20, 西高S30, etc.

嚶鳴同窓会評議員

Table listing members of the alumni association, including names and graduation years like 相澤 栄 顧問 昭和14 高女36, etc.

同窓会報へのお便りをお待ちしております

宛先 / 〒990-2492 山形市鉄砲町1-15-64
山形西高校内 嚶鳴同窓会報「同窓生からの便り」欄
お願い / 卒業年度、住所、電話番号をご記入の上お送りください。
問合せ / TEL 023(641)3504 FAX 023(641)3516
山形西高校内 同窓会報担当まで